

鶴瀬西交流センター 開設20周年！



～今月の特集～
敬老・フレイル

つるせ西だより

第205号（9月号）2025.9.1

編集：鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行：富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬 3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 75

備えあれば憂いなし

まだ暑い9月。2学期も始まり、子どもたちの元気な声とともにふとよめる防災のこと。地域でいろいろな取組みもされている中、一人ひとりの意識の大切さを感じます。枕元に置いておく物、防災用品の見直しもしようと思います。

助けあうこと、それには日々からのコミュニケーションも大切なひとつです。

この機会に家族でシミュレーションをしてみてもいい？防災倉庫、避難場所など確認したり、地域の訓練などに参加することもお勧めです。

（撮影・文／西内編集委員）



町会の『防災倉庫見学会』（関沢：ハケ上公園）

まちかどウォッチング

カラス撃退の「ユッケン」

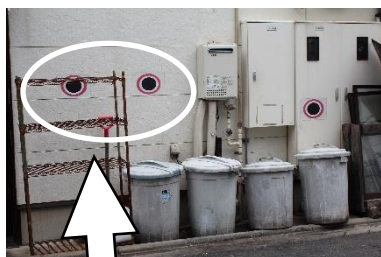
カラスによる被害がニュースとしてよく取り上げられる昨今ですが、常に聞かれる話はカラスの賢さ、学習能力の高さ、集団での行動力など賞賛に値する話ばかりです。

鶴瀬西地域で飲食店を営むある店舗でも、店内で供給した後の食材を店舗外のゴミケースに入れ、重石をおき、翌日の回収に備えているようですが、カラスは集団で重石をどかし、ふたを開け残飯を引き出し、食し、道路一面に散らかし帰っていきます。

そんな被害を解消できないかと店舗が講じたのではないかと思います。人の目のように見えるシートをゴミ箱壁面に貼って対策を施したところ、現状はカラス被害が収まっているようです。

人とカラスの知恵比べは、どこまで続くのか計り知れませんが、同様の被害をお持ちの方がいらしたら、試してみたいかがでしょうか。

（堀口編集委員）



カラス対策に効果あり？